※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新「現代の国語」（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
【知識及び技能】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【思考力・判断力・表現力等】

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 ・文章を的確に読み取っている。 ・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書いている。 ・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりしている。	・学習した内容を踏まえ、自分の考えを深め、まとめている。 ・書く、話すなどの技能を用いて、自分の考えを表現している。	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報を読み解く ［教材］ 「「生きもの」として生きる」 ワークシート	a：話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。 b[話/聞]：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 c：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。	行動の観察 記述の確認	行動の観察	行動の観察 記述の点検
	情報を要約してまとめる ［教材］ 「羅生門」	a：文章の組み立てや、語句の意味・漢字の読み書きについて理解する。 b[読]：語句や表現に注意し、筆者の考えを文脈に即して過不足なく読みとっている。 c：語句や表現に注意しながら、文脈に沿って筆者の考えを過不足なく理解しようとしている。	行動の観察 記述の確認	行動の観察	行動の観察 記述の点検 定期考査
二学期	情報と適切につきあう ［教材］ 「「文化」としての科学」	a：文章の組み立てや、語句の意味・漢字の読み書きについて理解する。 b[読]：語句や表現に注意し、筆者の考えを文脈に即して過不足なく読みとっている。 c：語句や表現に注意しながら、文脈に沿って筆者の考えを過不足なく理解しようとしている。	行動の観察 記述の確認 定期考査	行動の観察	行動の観察 記述の点検
	情報を適切に編集する （パブリックスピーチ） ［教材］ 「AIは哲学できるか」 ワークシート	a：場面に合った適切な話し方や言葉遣いを理解する。 b[話/聞]：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 c：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。	行動の観察 記述の確認 定期考査	行動の観察	行動の観察 記述の点検
	情報を集めて選ぶ （報告書の作成） ［教材］ 「不均等な時間」 ワークシート	a：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[書]：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 c：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。	行動の観察 記述の点検 定期考査	行動の観察及び記述の点検	行動の観察及び記述の点検
	情報を分析・評価する ［教材］ 「水の東西」	a：文章の組み立てや、語句の意味・漢字の読み書きについて理解する b[読]：語句や表現に注意し、筆者の考えを文脈に即して過不足なく読みとっている。 c：内容や表現の仕方を主体的に評価し、筆者の意見の強調点を理解し、それに対する自分の意見を表現しようとしている。	小テスト及び定期考査	記述の確認及び定期考査	行動の観察及び記述の点検
三学期	相手を意識して自分の考えを伝える（プレゼンテーション） ［教材］ ワークシート	a：話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[話/聞]：質問を想定して発言したり、疑問点を質問したりするなど積極的にプレゼンテーションに参加している。 c：話し合う事柄について調査したり、自分の意見をまとめたりするなどの事前準備をし、自分の意見を論理的に述べようとしている。	行動の観察と確認	行動の観察と確認	行動の観察と確認

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　30　）時間